

# 消防功労認められる

## 土屋氏叙勲(勲六等瑞宝章)を受章



小田部 土屋 政治さん

多年にわたり消防団幹部として、その職務の重要性を深く認識し、地域のために貢献したことが認められこの度平成5年秋の叙勲(勲六等瑞宝章)を受章されました。

## 石川氏文化の日表彰を受彰



古屋 石川 實さん

各分野で活躍している方に対し、千葉県が毎年「文化の日」に行う表彰で、この度石川消防団長が、消防・防災功労を受彰されたものです。

## 保護司に

### 實川・海保氏

犯罪のない明るい社会の実現と罪を犯した人たちの円滑な社会復帰を援助するための更生保護司として、次の方が10月23日付で法務大臣から委嘱されました。



實川 くに子氏 (長塚)



海保 和司氏 (尾垂六区)

## がや 榎の実に穴が2つ



新善光寺(篠本一区)に町指定文化財の大きな榎の木がある。周囲6m、木の勢力は至つて強く、わが物顔で枝を四方に広げている。

通信員 平山治布 (篠本一区)

その上仲々の変者らしく、どれもみな、左右に小さな穴が空いている。その

訳は、伝説によると弘法大師が諸国巡錫の折、榎の実に糸を通し持ち歩き、その種をまいたのでみな穴があると言われています。みなさんも手にとつてご覧になってください。

## ハローっうしん

### 民謡は健康によい

15年目を迎えた小川台民謡クラブは、青年館で月2回の練習に励みます。

クラブ員10人(男2人・女8人)は、みなさん70歳代。「声を出すのは、ボケや健康に良い」と先生の弁。

他のクラブと交流をはかつたり、また勉強のための旅行で民謡の輪を広げていきます。

通信員 鈴木康子 (小川台)



▲先生の三味線にあわせてのレッスン

## 毎月1日に念仏講

傍小戸・若梅区の念仏講は、毎月1日に青年館で行われます。11月1日の念仏講には、18人が集まり仏様の掛け軸を下げ、30分程先祖の供養をしました。

その後、当番の持ち寄つた手作りの料理を食へながら、



▲みなさん集まって先祖の供養

## 夫婦で植木屋さん



仲良く夫婦で植木屋さんを始め5年になる母子の斉藤英雄さん・信子さん。奥さんは、刈り込みや荒木の時の補助的な仕事で、主に横芝町、遠くは四街道まで行くそうです。「仕事は大変ですが、手入れされきれいになった時はとてもうれしい。」と毎日植木業に忙しい斉藤さんご夫婦。

通信員 中岡紀子(母子)

## ペトラ・さようなら

日本に来て親しくなつた方が集まり、山崎文武さん宅で11月13日にペトラさんの送別会が開かれました。

この日は、ペトラさんの自慢のサラダやたくさんの料理がテーブルに並び、歌や踊りの賑やかな送別会となりました。また、お茶が

## ▼ペトラさんを囲んで



好きなペトラさんに茶器のプレゼントがありました。通信員 山崎幸子(台)